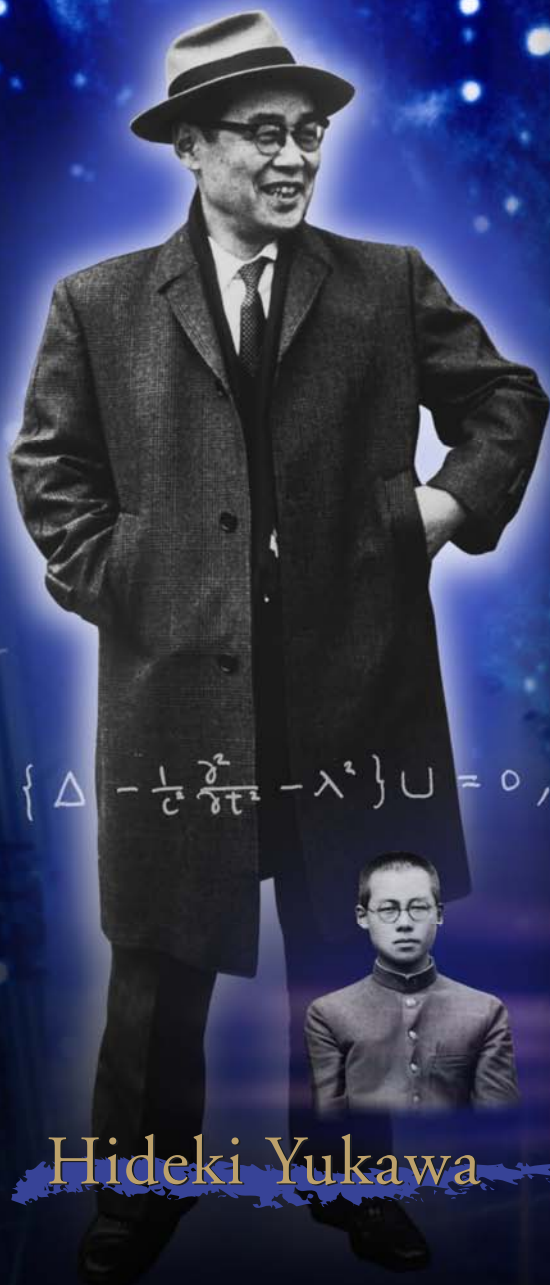


ユネスコ湯川年2007
大阪大学と湯川秀樹博士

素粒子の世界を拓く

湯川秀樹・朝永振一郎展



Hideki Yukawa



Sin-itiro Tomonaga

2007年5月1日[火]～5月31日[木]

大阪大学総合学術博物館 企画展

MOU
Museum of Osaka University

開催場所	共通教育本館（イ号館）	休館日	日曜日（5月3、4、5日は開館）
開館時間	10時00分 — 16時30分	入場料	無料

■ホームページ <http://www.museum.osaka-u.ac.jp/jp/index.html>

[主催] 大阪大学 [協力] 京都大学、筑波大学、国立科学博物館

大阪大学総合学術博物館 企画展 ユネスコ湯川年2007 大阪大学と湯川秀樹博士 素粒子の世界を拓く 湯川秀樹・朝永振一郎展

湯川秀樹博士は、1949年日本人として最初の、朝永振一郎博士は、1965年に2番目となるノーベル賞を受賞しました。湯川博士と朝永博士は、京都大学で量子力学という新しい学問とともに勉強し、大輪の花を咲かせました。

この両博士のうち湯川博士の業績は、大阪大学で生まれた研究成果に対する受賞でした。湯川博士は、京都大学を卒業後、京都大学の助手となり、さらに講師を勤めましたが、長岡半太郎総長、八木秀次物理学科主任のもとで、自由闊達な雰囲気の中、原子核物理学などの新しい学問を展開している大阪大学理学部物理学教室で研究することを望み、1933年に大阪大学の講師として赴任し、その翌年には専任講師となりました。湯川博士は1934年に、長年温めていた核力の起源の研究に画期的なアイデアを得、これを中間子論としてまとめあげ、論文として発表しましたが、この研究に対しノーベル賞が与えられたのです。

この展示会は、ユネスコ湯川年、また両博士の生誕百年を機に、両博士の物理学の研究と日本の科学発展に尽くされた業績をひろく皆さんに知って頂くために企画されました。両博士の足跡と両博士が切り拓かれた世界をご覧ください。

$$\left\{ \Delta - \frac{1}{2} \frac{\partial^2}{\partial t^2} - \lambda^2 \right\} \psi = 0,$$

湯川の中間子場の方程式

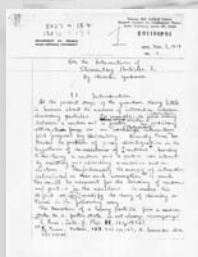
日露戦争終結

第一次世界大戦
アインシュタイン来日

関東大震災

欧州で第二次世界大戦勃発

広島、長崎に原子爆弾、第二次大戦終結



中間子論・英文論文第1頁

ビキニ環礁水爆実験で福竜丸被爆

安保改定反対運動

大学紛争

1905

1906.3.31

1907.1.23

1914-18

1922.11

1923

1923.9

1926

1932

1935

1939

1940

1943

1943

1945

1946

1948

1949

1952

1953

1954

1955

1957

1956-62

1960

1962

1963-69

1965

1968-69

1975

1979.7.8

1981.9.8

2005

朝永 誕生

湯川 誕生

第三高等学校入学

京都大学理学部入学

湯川 結婚

湯川 中間子論

朝永 結婚

湯川 文化勲章受章

朝永 超多時間理論

湯川 学術雑誌 Progress of Theoretical Physics 創刊

朝永 くりこみ理論

湯川 ノーベル賞受賞

朝永 文化勲章受章

湯川 京都大学基礎物理学研究所所長
東京と京都で「国際理論物理学会」開催

湯川 ラッセル・アインシュタイン宣言に共同署名

第一回バグウォッシュ会議に出席

朝永 東京教育大学学長

第一回科学者京都会議

朝永 日本学術会議会長

朝永 ノーベル賞受賞

バグウォッシュ・シンポジウムを京都で開催

朝永 逝去

湯川 逝去

ユネスコが湯川メダルを製作

$$ik \frac{\delta \Psi[C]}{\delta \phi} = H(P) \Psi[C]$$

朝永の超多時間理論



菊池俊吉氏撮影



超多時間理論論文(1943年)
くりこみ理論の理論的基礎を与えた。

2007年 5月1日[火]～5月31日[木]

大阪大学豊中キャンパス 共通教育本館(イ号館)1階

開館時間：10:00～16:30(会期中は日曜日休館：5月3、4、5日は開館)

アクセス方法：

大阪モノレール・柴原駅下車 徒歩15～20分

下車後、高速道路沿いに西へ進みます。駅から正門への所要時間は徒歩約5分。なお、正門の約200m手前には歩行者用通路の入口(柴原口)があり、掲示板が立っています。総合学術博物館は、正門からさらに15分程歩いたところにあります。

阪急宝塚線・石橋駅下車 徒歩8～13分

東口または西口を出て、阪急電鉄の踏切を渡ると石橋阪大下交差点に出ます。交差点脇にある阪大坂を上ってください。

駅から徒歩約13分で総合学術博物館に到着します。

大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 TEL:06-6850-6715 <http://www.museum.osaka-u.ac.jp>

●表面写真解説、中央：左 湯川秀樹(写真提供「新潮社」)右 朝永振一郎(千葉浩志氏撮影)、下：三高時代の湯川・朝永

